

NPO法人 島の風

代表者	納戸義彦
所在地	〒905-0603 沖縄県島尻郡伊是名村字仲田 64
設立年月日	2005年9月4日
URL	www.shimanokaze.jp/

【設立趣旨】

私たちNPO法人島の風は、「島のこしが島おこし」のミッションのもとで、島の優良な自然環境や景観、地域コミュニティ、伝統文化、自給を中心としたエコロジカルな生活スタイルを残し、守り、伝える地域づくりの運動を通し、開発に頼らない次世代へ継げる持続可能な観光をめざし活動しています。さらには、それらの取り組み自体を有効に活用し、住民が主体的に取り組むコミュニティ・ツーリズムというコミュニティ・ビジネスの構築を進めています。従来の観光能動者（都市生活者）からの一方的な眼差ざしにこたえる「商品提供型観光」から観光受動者（住民）の視線での「運動提案型観光」にシフトチェンジし、美しい島をつくること、美しい島を守ること、美しい島であり続けることの運動を提案することにより、持続可能な地域づくりを共有する運動交流型の「環境観光」という新しい観光概念の構築をめざす活動を推進しています。会員は、島の若者中心に18名で構成。

【沿革】

伊是名島は沖縄本島の北部、本部半島の北、約40Kmの海上にあり、人口約1,700弱、周囲約17Kmの零細な農漁業を中心とした小さな島です。しかも、近年の沖縄観光ブームのなかでも、那覇からのアクセスの悪さなどもあり、ほとんど無名の島であり、訪れる観光客も少なく、長閑な生活風景や沖縄の原風景とも呼べる優良な景観、伝統的コミュニティの文化を色濃く残している島でもあります。伊是名島は、琉球王朝第二尚氏を開祖した尚円王の生まれ島としても名高く、今なお往時の歴史を伝える文化財や遺跡などが島内に数多く残されています。その中でも伊是名集落にある「銘苅家住宅」は戦災を免れた琉球建築民家の内でも保存がよく、沖縄本島「中村家住宅」と共に、上級士族住宅の格式ある建例として国指定重要文化財に指定されています。

【活動目的】

私たちのような小規模離島における観光振興のあり方をみると、地域が疲弊しない次世代へ継承可能な持続ある観光を目指すには、経済的側面のみで捉える消費活動としての観光から、島を残し、守り、伝えるという地域づくりの運動としての観光へと転換を図らなければならないと考えております。島の環境や景観、自給を中心とした生活スタイルやコミュニティの文化を守り、訪れた観光者が現代社会の中で忘れ去ろうとしている文化的原点やジニオロジーを体感できる島づくりを目指すことで、賛同や共感を呼び込み、観光者（都市生活者）と共に島を守り伝える交流型の運動を推進していこうという考えです。

【活動内容】

その中心となる事業が「古民家をリサイクルし、地域住民が運営するコミュニティ・ツーリズムを推進するプロジェクト」通称古民家再生プロジェクトです。島内に点在する主を失い崩壊を待つばかりの沖縄民家を再生し、島の伝統的景観を守るとともに、そこから生まれる建築廃棄物を抑制し、さらには、沖縄民家が持つ先人たちの知恵、自然と共生するパッシブデザインの学習の機会を次世代の子供たちに残し、地域においては、これらの運動を観光の資源としコミュニティ・ツーリズム（観光版コミュニティ・ビジネス）を構築し、近隣住民が主体的に管理し、収益を上げることでコミュニティを活性化しようとする身の丈サイズのビジネスモデルの実現をめざしています。特に国

指定重要文化財「銘苅家住宅」を中心とした伊是名集落の景観は島人の宝であり誇りであり、そのことを再認識する事業として、平成19年度文化庁「NPOによる文化財活用モデル事



家住宅」と並び沖縄民家の名作と呼ばれる「銘苅家住宅」がこの島に現存することの価値と意義を住民自らが再確認することを目的にしています。実施にあたっては約250名（全住民の15%）もの住民がなんらかの形でかわり「住民の心で灯すライトアップ事業」となっています。



住民と学生ボランティアによる準備風景



「銘苅家住宅」内のライトアップ

【活動上の課題と今後の展望】

本年から愛知県足助町のライトアップイベント「たんころりんの夕涼み」との交流がはじまり、8月開催された「たんころりんの夕涼み」に「しまあかり」が灯りました。また、本年11月開催の「しまあかり」に足助町から「たんころりん」が届く予定です。沖縄県下には「あなたも町の宝を照らしてみなせんか」というキャッチフレーズで「しまあかり」技術移出事業をスタートします。3回の開催で蓄積した運営ノウハウを1000基の行灯パーツと共に沖縄県下に移出し、灯りの輪をひろげていきたいと考えています。また、全国的にも足助町との交流をきっかけに、豪華ではないけれど地域の身の丈にあった各地域の灯りの事業との交流が広がればと期待しています。



ライトアップされた国指定重文「銘苅家住宅」

業」の委嘱をうけ、住民自らによる「島の宝」の再発見とこの美しい景観は守り伝えるべきものであることの再認識を促す事業として、さらには、住民の主体意識のさらなる醸成をめざすと共に、島外へ島の素晴らしさを情報発信する事業として住民主体で行う手作りの1000基のローソク行灯によるライトアップ事業「しまあかり」を実施し、本年第3回目をむかえます。この事業はプランニング、準備、実行まで、島内住民が直接参加運営することにより、沖縄本島中城にある重要文化財「中村



子供たちによる行灯制作